

道徳はこんな内容です

道徳教育は

道徳の時間は

- ・人間が本来もっている「よりよく生きたい」という願いや「よりよい生き方を求め実践する人間」の育成を目指し、その基盤となる道徳性を養う教育活動です。
- ・小学校では、人間としてよりよく生きるために共通の心構えや行動の仕方を様々な体験や学習を通して学びます。基本的な生活習慣やルール・モラルの指導をしたり自然体験活動やボランティア活動などの体験活動をしたりして道徳性の育成を図っていきます。

- ・教育活動全体を通して行う道徳教育の要となるのが道徳の時間です。
- ・教師と児童がいっしょに、いかに生きるべきかを「共に考え、学ぶ」時間です。
- ・一人一人が主体的に道徳的価値の自覚を図り道徳的実践力を身に付ける時間です。

※道徳の時間の基本的な指導過程を紹介します。

導入	児童の興味や関心を高める段階
展開	ねらいを達成するための中心となる段階 児童一人一人が道徳的価値の自覚を深める段階
終末	道徳的価値に対する思いや考えをまとめたり温めたりして、今後の発展につなぐ段階

道徳性とは

- ・人間としての本来的な在り方やよりよい生き方を目指してなされる道徳的行為を可能にする人格的特性であり、人格の基盤をなすものです。
- ・人間が人間として共によりよく生きていく上で最も大切にしなければならないものです。

4年生はこんな学習をします

道徳教育の評価

- ・道徳教育における評価は、児童の人間的な成長を見守り、よりよく生きようとする努力を評価し勇気付ける働きをもつものです。観察、質問紙、作文などを利用して道徳性の共感的理解に努め、その結果を指導に生かすようにしています。

1 自分自身に関すること

- ・自分でできることは自分でやり、よく考えて行動し、節度のある生活をする。
- ・自分でやろうと決めたことは、粘り強くやり遂げる。
- ・正しいと判断したことは、勇気をもって行う。
- ・過ちは素直に改め、正直に明るい心で元気に生活する。
- ・自分の特徴に気付き、よい所を伸ばす。

2 他の人とのかかわりに関すること

- ・礼儀の大切さを知り、誰に対しても真心をもって接する。
- ・相手のことを思いやり、進んで親切にする。
- ・友だちと互いに理解し、信頼し、助け合う。
- ・生活を支えている人々や高齢者に、尊敬と感謝の気持ちをもって接する。

3 自然や崇高なものとかかわりに関すること

- ・生命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切にすること。
- ・自然のすばらしさや不思議さに感動し、自然や動植物を大切にすること。
- ・美しいものや気高いものに感動する心をもつ。

4 集団や社会とかかわりに関するもの

- ・約束や社会の決まりを守り、公德心をもつ。
- ・働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働く。
- ・父母、祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合って楽しい家庭を作る。
- ・先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合って楽しい学級を作る。
- ・郷土の伝統と文化を大切にし、郷土を愛する心をもつ。
- ・我が国の伝統と文化に親しみ、国を愛する心をもつとともに、外国の人々や文化に関心をもつ。

学校では

道徳教育の目標、道徳の時間の目標に基づいて道徳教育の全体計画と年間指導計画を作成しています。

さらに、学級では、学級における指導計画を作成するなどして道徳教育の充実に努めています。

また、道徳教育の指導に当たって、教師と児童の信頼関係及び児童相互の人間関係を深めたり、家庭や地域社会と連携して道徳的実践の充実に努めています。

学校ではこれらの内容を全体にわたって指導しますが、児童や学校・学級の実態、特色などを考慮して、さらに重点的に指導していきます。

